

数 学

前期日程

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまでは、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題用紙は4ページで、問題は4問あります。全問に解答しなさい。
解答は解答用紙に記入しなさい。表面に書ききれない場合は、裏面を使用してもよいが、その場合は必ず表面に「裏面に続く」と記入しなさい。
3. 解答用紙は4枚(その1～その4)あります。
4. 受験番号を、すべての解答用紙の受験番号欄(1枚につき2ヵ所)に正確に記入しなさい。
5. 試験中に問題用紙及び解答用紙の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁、汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
6. 試験時間は120分です。
7. 各設問に記載した配点は、200点満点の場合の配点です。なお、一般入試B方式(理科重点)では200点満点を150点満点に換算します。一般入試A方式(数学重点)、帰国子女入試及び私費外国人留学生入試の満点はそれぞれ200点です。
8. 試験終了時に、監督者の指示に従って、すべての解答用紙を提出しなさい。
9. 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

1

関数

$$f(x) = (2e - x) \log x \quad (x > 0)$$

について、以下の問いに答えよ。ただし、 $\log x$ は e を底とする自然対数を表す。

(配点 50)

- (i) $f(x) = 0$ をみたす x の値をすべて求めよ。
- (ii) 導関数 $f'(x)$ および第 2 次導関数 $f''(x)$ を求めよ。
- (iii) 関数 $f(x)$ の極値を求めよ。
- (iv) 不定積分 $I = \int x \log x \, dx$ を求めよ。ただし、積分定数は省略してもよい。
- (v) 曲線 $y = f(x)$ と x 軸で囲まれた部分の面積 S を求めよ。

2

関数

$$f(x) = \frac{1}{\sin x} - 2 \cos 2x - 1 \quad (0 < x < \pi)$$

について、以下の問いに答えよ.

(配点 50)

- (i) 導関数 $f'(x)$ を求めよ.
- (ii) 区間 $0 < x < \pi$ において、 $f(x) = 0$ をみたす x の値をすべて求めよ.
- (iii) 区間 $0 < x < \pi$ における $f(x)$ の極値をすべて求めよ.
- (iv) 不定積分 $I = \int \frac{dx}{\sin x}$ を求めよ. ただし、積分定数は省略してもよい.
- (v) 曲線 $y = f(x)$ と x 軸で囲まれた部分の面積 S を求めよ.

3

双曲線 $C: \frac{x^2}{16} - \frac{y^2}{64} = 1$ について、以下の問いに答えよ。 (配点 50)

- (i) C の 2 つの漸近線のうち、 C 上の点 $(5, 6)$ との距離が小さい方の漸近線 ℓ_1 の方程式を求めよ。さらに、 ℓ_1 と点 $(5, 6)$ との距離 d を求めよ。
- (ii) C 上の点 $(5, 6)$ における C の接線の傾きを求めよ。
- (iii) m を実数とし、直線 $\ell: 2(m^2 + 1)x - (m^2 - 1)y = 16m$ を考える。
- (ア) 直線 ℓ が点 $(1, 6)$ を通るような m の値をすべて求めよ。
- (イ) m が実数全体を動くとき、直線 ℓ が通過する領域を D とする。領域 D を表す不等式を求めよ。
- (ウ) 直線 ℓ が C 上の点 (x_1, y_1) を通るとき、 m を x_1, y_1 の 1 次式で表せ。

4

1 から 6 までの目が等しい確率で出るさいころがある。数直線上の点 P に対して、このさいころを投げるたびに、次の操作を行うものとする。

- Ⓐ 1, 3, 5 の目が出たときは、点 P を正の方向へ 2 動かす。
- Ⓑ 6 の目が出たときは、点 P を正の方向へ 1 動かす。
- Ⓒ 2, 4 の目が出たときには、点 P は動かさない。

以下の [I], [II] の問いに答えよ。なお、0 はすべての整数の倍数である。

(配点 50)

[I] 点 P が原点 O にある状態から、さいころを投げて上の操作を行うことを n 回繰り返した後の点 P の座標が、2 の倍数である確率を p_n とする。

(i) p_1, p_2 を求めよ。

(ii) p_{n+1} を p_n を用いて表せ。さらに、 p_n を n の式で表せ。

[II] 点 P が原点 O にある状態から、さいころを投げて上の操作を行うことを n 回繰り返した後の点 P の座標が、3 の倍数である確率を q_n とする。

(iii) q_2 を求めよ。

(iv) q_{n+2} を q_n を用いて表せ。

(v) q_n を求めよ。さらに、極限值 $\lim_{n \rightarrow \infty} q_n$ を求めよ。

